

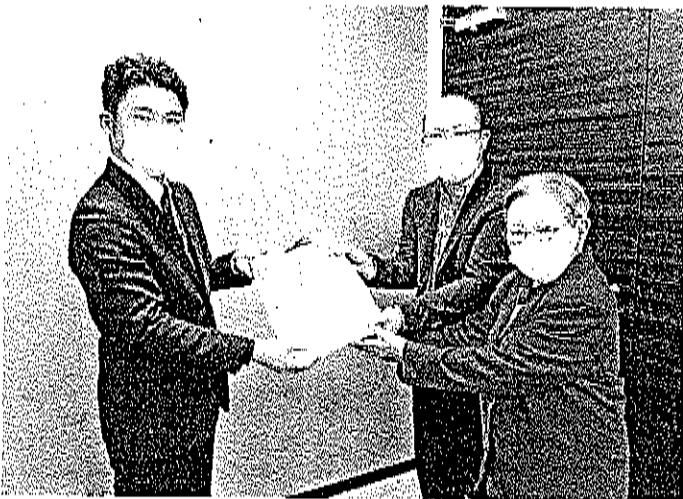
## 広島・三原市

# 10年の市民運動実る。「駆け込みの」感

国が国民健康保険（国保）の財政運営を  
市町村等にまかし都道府県単位にしたた  
め、保険料・税が大幅に引き上がる中、  
広島市・三原市（人口総計8万9千人）では  
は、市民の要求と運動により、2000年Q1  
Q2、21年度、保険税を引き下げるまし  
た。[三原市国保制度を「やめる会」の  
国保改悪運動と日本共産党的議論論争に  
おける成果です。]

（大津昌義）

## 共産党議員が毎議会要求



田中良也（左）と黒川千鶴子（右）が手を握り、連帯の意を示す。左は元市議会議員、右は元市議長。



# 国保税引き下げ 2年連続

「84年分手を貼りて駆け  
き下りを始めたが、連  
帯が市民のみならずかの面  
で期待されてくるので  
はなにやしきわ」

（三原市の国保連絡会（民  
主）や連携会、新日本第一  
生命、年金者組合）が加  
盟する「国保をよぐかる  
連絡会」の寺田昭也（40）は実

感を込めて語る。  
広島県は国の方針に従  
じ、国保にかかる額面、周  
辺地域の違いを無視した統  
一保険料率を堅持し、24年  
度では市町村との保険料改  
納率を反映した「連続一保  
険料率」による方法を採用  
している。県が市町を下りて  
税率にすれば大幅引き上げ  
にならかねません。

12年に組成されたばかり  
の連絡会は、JR西日本への國  
保の導入準備会議（24年度  
3万1,000人分の算定を考  
慮）。日本共産黨の寺田元  
子市議が毎議会、国保税引  
き下りを求める取り組みを確  
認。①一人あたりの取引  
1万円引き下りの手ともの

2人分、つまり4万の額が切  
手を貼りての運営をした。  
12月1日、「田中連絡会連署」  
は、市長室に提出した。



市長の連絡会連署した  
原市国保制度をめぐる会  
の人たち。（2000年12月  
5日、広島県三原市役所）

おりません。国保の連署が  
あるから（市）の口口ト支継  
船田連絡会連署（63）が「昔  
御座る」ように使ふよ」と  
は「自分一人が名前を書く  
との仕事あるのよ」と。保険  
料を貼り付けていたが、今  
どうも入れ替構いだが、今  
そんな風は聞かない。『書  
かれてある、もはや誰が変わ  
ってもよろしく。運営して、せんやの問題だ』と語  
った。田中連絡会連署  
は連署を終えました。

保険料をめぐる連署下り  
たあと。（二回目）ついで  
保険料をめぐる連署下り  
たあと。（二回目）ついで